





### 「子ども会って面白い!!」

船岡地区子ども会では、子どもたちの自立、地域とのつながりを深めるため、季節ごとにさまざまな行事を行っています。春は子どもたちが仮装して、各子ども会で作ったみこしを担ぎ「交通安全」の掛け声で商店街を練り歩く「子ども交通安全パレード」、夏は地区対抗の「球技大会」、秋は各地区から集めたおもちゃなどを子どもたちが販売体験をする「子どもフリーマーケット」、冬は高学年を対象とした「インリーダー研修会」など、さまざまな行事を行っています。年々子ども会に加入する子どもの人数が減っており、行事に参加できない地区や子どもたちが増えています。

時代の流れで生活スタイルも変化し、加入者数が減少するのは致し方ないとは思いますが、もっと多くの子どもたちに「子ども会って面白い!!」と思ってもらえる船岡地区になるよう、地域、学校、保護者の皆さまの協力を頂きながら、盛り上げていきたいです。

船岡地区子ども会育成会 社会部長 石井 亨



### 受け継がれる伝統行事

西船迫1丁目地区子ども会育成会は、小学校1年生から6年生までの12人の児童とその保護者で活動しています。主な行事として、西船迫1丁目地区夏祭り、船迫地区対抗球技大会などを親子、子ども同士及び親同士のコミュニケーションを深めながら活動しています。

その中でも今年で38回目を迎えた「船迫地区対抗かるたとり大会」は、船迫地区伝統行事の一つです。毎年、各地区に割り振りされた絵札を皆でアイデアを出し合いながら、大きな札(45cm×35cm)を皆で1枚ずつ作成していくため、出来上がった作品はどれも力作揃いとなり、とても充実した時間となります。大会当日は、校庭に各地区で作成した絵札をばらまき、皆で一生懸命に追いかけて、白熱した戦いが繰り広げられます。今後もこのような伝統ある行事が続いて行くことを期待しています。

西船迫1丁目地区子ども会育成会 会長 駒板 志保



### 五穀豊穡と無病息災を願って「子どもみこし」が練り歩く

四日市場地区(沖・山根)では、毎年4月の第1日曜日に、山神社恒例の「春の例大祭典」が行われます。山神社で最も重要な本みこしと子どもみこしが、地区内を氏子様や崇敬者と子どもたちが一緒に巡行します。

四日市場沖・山根子ども会の小中学生が法被姿で参加し、四日市場の小高い山に氏神様として鎮座する山神社を出発した後に五穀豊穡と無病息災を願って、7キロ近くを練り歩きます。約40人の子どもたちが本みこしの前を先行し、太鼓の叩く音に合わせ、「わっしょい、わっしょい」と元気な声を高らかに上げ、地区内をまわります。沿道に集まった地域の皆さんから声援をいただくなど元気をつけられました。

四日市場沖子ども会育成会 会長 佐藤 嘉一



### 今も昔も変わらない世代間交流

西住親子会は、西住、杉崎、清住、八入、大住の5班に分かれてさまざまな活動を行なっています。歓送迎会から始まり、公園清掃、資源回収、おみこし作り、野外活動、クリスマス会、スキー教室、ご褒美ボーリング大会など、一年を通して行事が目白押しです。

年間行事の中でも「30区ふるさと夏祭り」は子どもだけでなく大人にとっても楽しい行事の一つです。約3か月間、祖父母世代の方や中学生たちが、ボランティアで子どもたちにお囃子を教えてくれます。また、一生懸命になってお互いに教え合っている子どもたちの様子も微笑ましく、夏の夜に奏でるお囃子の音色は、なんとも素敵なものです。私自身も、この西住親子会で育った一人であり、今、自分の子どもたちも、同じ西住親子会で育てられている事が、とても感慨深く感じます。今も昔も変わらない世代間交流を、今後も楽しく共有していければと思います。

西住地区子ども会育成会 西住親子会 西住班長 菊地 和香子



### みんなで仲良く元気よく

令和元年8月31日(土)柴田小学校体育館を会場に宮城県レクリエーション協会 副会長 佐藤さんを講師に招き、児童35人、大人30人と運営支援で参加した柴田町ジュニア・リーダー1人を含めた計66人でレクリエーション研修会が行われました。

個人戦、団体戦のレクリエーションを「真剣さ。心の底からの笑い声」をテーマに体験し、子どもも大人も共に楽しい時間を過ごしました。特に、団体戦のレクリエーションでは、チームワーク向上経過が1、2回と重ねる度に上昇し、即興チームにも関わらず、大声を出して戦略を語り合う参加者の姿に感動しました。これからも、「みんな仲良く元気よく」を目標に活動していきたいです。

柴小地区子ども会育成会 会長 加藤 秀明



### 素晴らしいコミュニティ活動

今年度も総会を残し一年が過ぎようとしています。

子どもたちも一年の活動を通して、また一つ成長したと思います。当地区の一番高い所で、花が目立ち、自慢でもある長年続く阿武急行陸橋の「コスモス植え」。子どもたちが体力向上と連帯感を育む「球技大会のドッジビー大会」。夏休み前の「ラジオ体操講習会」。親を対象とした「成人指導者研修会」。そして、心身の健康、協調性などの成長に役立つとされる、「あぶくま太鼓の練習と演奏」。

今年も子どもはもちろん、親もたくさんの経験をして、それぞれが地区を感じ、意識することにつながったと思います。子ども会は、子どもたちが仲間と力を合わせて活動する、最も身近な集団です。その活動を通して得られる成功体験や失敗体験が、子どもたちの成長に大きな影響を及ぼす極めて重要な経験となります。地区の皆さま、新年度も子どもたちと子育て中の親たちに、この素晴らしいコミュニティ活動の応援をよろしくお願いいたします。

東船岡地区子ども会育成会 会長 水戸 義裕



育成会だより第四十七号

地区子ども会活動レポート